

治水

発 行 全 国 治 水 期 成 同 盟 会 連 合 会

東京都千代田区平河町 2-7-5(砂防会館内)
電 話 03(3222)6663 FAX 03(3222)6664
ホ ー ム ペ ー ジ <http://zensuiren.org/>
お 問 い 合 わ せ zensuiren@k2.dion.ne.jp
編 集 ・ 発 行 椿 本 和 幸



【台風10号】空知川(北海道南富良野町)

治水事業促進全国大会

開催日 12月2日(金) 14時～

場 所 シェーンパツハ・サボー(砂防会館別館)

主催者 全国治水期成同盟会連合会

特別講演 13時開演

「東日本大震災の対応について～大震災から得た教訓～」

講演者 熊谷順子氏【東日本大震災発災時の東北地方整備局企画部防災課長(現：株式会社復建技術コンサルタント 事業企画本部理事)】

● 目 次

東北地方治水大会の御案内	2
中国地方治水大会のご案内	4
近畿地方治水大会の開催について(ご案内)	6
河川愛護月間をかえりみて	9
平成 28 年度「森と湖に親しむ旬間」実施状況	10

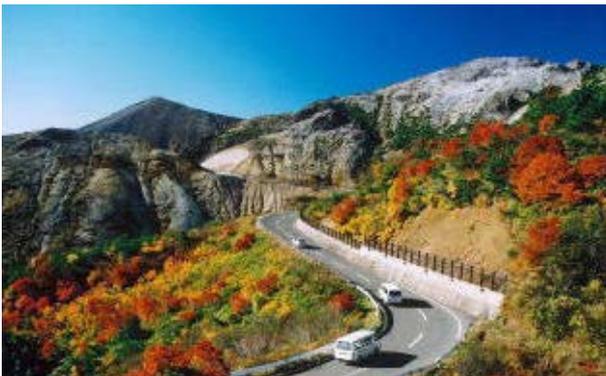


東北地方治水大会の御案内

平成 28 年 10 月 28 日(金) 13:30 ~
 福島市 ザ・セレクトン福島
 事務局：福島県土木部河川整備課内

平成 28 年度東北地方治水大会の事務局を担当します福島県から、本県の PR と大会の御案内をさせていただきます。

福島県は東北地方の最南端に位置し、東京からおおむね 200km 圏内にあります。全国で 3 番目に広い面積を誇り、雄大な自然と歴史に彩られた伝統文化が息づく本県は、地形や気候風土から大きく 3 つのエリアに分かれています。豊かな自然に恵まれ、歴史と文化にあふれる会津地方。美しい花々とみずみずしい果実がいっぱいの中通り地方。太平洋の景観を望み、気候温暖な浜通り地方。それぞれの地域がそれぞれの魅力で皆さまをお待ちしています。



紅葉に染まる磐梯吾妻スカイライン (福島市)



相馬野馬追 (南相馬市)

本県は、東部の阿武隈高地、中央の奥羽山脈、西部の越後山脈と 3 つの山脈が走る特徴的な地形により、それぞれの地域で自然環境や気象的な違いも明確です。県内を流れる河川は、阿武隈川水系、阿賀野川水系、久慈川水系、那珂川水系の 4 水系で

339 一級河川、その他 161 二級河川で、指定区間延長は約 4,864km あり、うち県管理は 491 河川、指定区間延長約 4,642km となっています。太平洋に面する浜通り地方には、総延長約 167km の海岸線に 16 の海岸 (113 地区海岸) があります。治水事業についても、地形特徴や水害の発生傾向を考慮した総合的な計画が求められています。



歴史的景観に配慮した桜川の河川改修 (三春町)

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、死者 3,893 人 (うち震災関連死 2,065 人)、行方不明者 3 人、家屋被害 94,508 棟 (H28.7.25 時点)、公共施設被害報告額約 5,994 億円 (H24.3.23 時点) という甚大な被害を受けました。さらに、原子力災害の影響により、現在も約 88,000 人が県内外で避難生活を続けています。本県土木部では、平成 23 年度から「集中復興期間」として、復興公営住宅の整備等による避難者の居住の安定確保、公共土木施設の復旧、避難解除等区域の復興を支える道路や物流拠点の整備、放射性物質への対応などを重点的に進めてきました。津波被災地の復興まちづくりでは、堤防の復旧や嵩上げ、防災緑地の整備、防災・減災機能を備えた道路整備など多重防御による総合的な防災力の向上に取り組んできました。そして今年度からは、新たなステージとなる「復興・創生期間」をスタートさせ、被災した公共土木施設等の早期復旧完了を

目指すとともに、復興記念公園の早期整備、広域道路ネットワークの強化などに取り組んでいます。



埼玉地区防災緑地の整備状況（新地町）

また、震災以降にも、同年 7 月の新潟・福島豪雨では、降り始めからの雨量が只見町で 700mm を越え、橋梁の流出や生活道路の寸断など、只見川沿川を中心に甚大な被害が発生しました。さらに、同年 9 月の台風 15 号では、阿武隈川の破堤や、家屋の浸水被害など多大な被害を受けています。近年はゲリラ豪雨等の異常気象の発生により、本県においても、災害の発生が局地化・甚大化している傾向が見られます。

昨年 9 月の関東・東北豪雨では、本県においても南会津町、昭和村、葛尾村が局地激甚災害に指定されるなど甚大な被害が発生しました。現在、災害復旧事業への早期着手、早期完了に向け取り組んでいるところですが、一方で、平成 23 年の新潟・福島豪雨で被災し整備が完了していた只見町の黒谷川や叶津川においては、今回の豪雨による被災が無く、河川改修の効果が顕著に現れました。このことから、県民生活の安全・安心を守る治水事業の重要性を再認識し、予算の確保と地域課題の解決に向け、着実

な事業推進を目指して本大会に望みたいと思います。



河川災害関連事業による叶津川の整備（只見町）

本大会の記念講演では、福島県公式 YouTube チャンネル (<https://www.youtube.com/user/PrefFukushima>) のアドバイザーをお願いしている株式会社ソーシャルメディア研究所の熊谷仁美様に御講演いただくこととなっております。水に関わる視点から地域の魅力や PR 方法等についてお話しいただけますので、ぜひご聴講ください。

震災から幾度となく災害に見舞われた本県の復興につきまして、全国各地の皆さまから多大なご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。これからも、「夢・希望・笑顔に満ちた“新生ふくしま”」の実現に向け取り組んで参ります。

最後になりますが、本大会が開催される秋のふくしまは、美しい紅葉に加え、りんごやぶどう、梨などの果物、県内各地で個性がある蕎麦、全国新酒鑑評会金賞受賞数 4 年連続日本一の日本酒など、たくさんの魅力にあふれています。皆さまのご来県を心からお待ちしています。

中国地方治水大会のご案内

平成 28 年 11 月 8 日(火) 13:40 ~
鳥取市 とりぎん文化会館 小ホール
鳥取県 県土整備部 河川課

平成 28 年度中国地方治水大会の事務局を担当します鳥取県から本県の紹介と大会の御案内をさせていただきます。県内外から多くの皆様の御参加をお願いします。

1 鳥取県のすがた

鳥取県は、中国地方の北東部に位置し、東西約 120km、南北約 20 ~ 50km と東西に細長い県です。北は日本海に面し、鳥取砂丘をはじめとする白砂青松の海岸線が続き、南には、中国地方の最高峰・大山をはじめ、中国山地の山々が連なっています。山地の多い地形ながら、千代川・天神川・日野川の三つの一級河川の流域に平野が形成され、それぞれ鳥取市、倉吉市、米子市が流域の中心都市として発展しています。

気候は、冬期にも積雪による降水量が多い日本海側気候に属し、鳥取気象台の過去 30 年間(昭和 56 年~平成 22 年)のデータによると、年間の平均降水量は 1,914mm と全国平均 1,610mm よりも多く、都道府県別で第 10 位となっています。

2 近年の浸水被害と今後の取り組み

鳥取県には、千代川・天神川・日野川・斐伊川の一級水系 183 河川と二級水系 114 河川の合計 297 河川があり、総延長約 1,440km のうち、延長約 1,306km が県管理河川です。

県管理河川については、昭和 54 年の台風 20 号、昭和 62 年の台風 19 号により、県内各地で大規模な水害・土砂災害が発生し、尊い人命や多くの財産が失われるなど、極めて甚大な被害が生じたことを受けて、本格的な治水対策に着手してきました。しかし、近年においても、台風や梅雨前線による豪雨、局地的な集中豪雨などにより、依然として多くの浸水被害が発生しています。

とりわけ、鳥取市を流れる塩見川は、流域面積に比べて河道の断面積が極端に小さく、河床勾配が緩やかであることなどから、過去より幾度となく浸水被害に見舞われてきました。このため、昭和 54 年から河道拡幅、河床掘削などの河川改修を実施しているところですが、平成 9 年 7 月の梅雨前線豪雨で 82 棟、

平成 16 年 10 月の台風 23 号で 66 棟、平成 18 年 7 月の豪雨で 35 棟の床上・床下浸水が発生するなど、浸水常襲河川となっています。



平成 9 年 7 月梅雨前線豪雨 塩見川の浸水被害(鳥取市福部町)

また、同市内を流れる大路川は、戦後最大洪水を記録した昭和 54 年の台風 20 号により、沿川の住宅密集地において、本川である千代川の水位上昇に伴う内水被害が発生し、床上浸水 329 棟、床下浸水 218 棟の甚大な被害が発生しました。このため、昭和 57 年に改修計画を策定し、堤防拡幅や複数の排水機場整備による内水対策を講じているところですが、平成 10 年、平成 16 年にも台風や豪雨による浸水被害が発生しており、今後も治水安全度の向上に向けた取り組みが求められています。



昭和 54 年 10 月台風 20 号 大路川の洪水(鳥取市吉成)

この他にも、記憶に新しいところでは、大山町大山で総雨量 938.5mm(9月1日～9月4日)を観測し、県内各地に記録的な大雨をもたらした平成 23 年 9 月の台風 12 号により、米子市を流れる佐陀川の堤防が決壊寸前の侵食被害を受け、県内全域で床上浸水 17 棟、床下浸水 138 棟の被害が発生するなど、県中西部を中心に多くの被害が発生しています。



平成 23 年 9 月台風 12 号 佐陀川堤防の侵食被害 (米子市淀江町)

本県では、このような過去の災害を教訓として、現在、近年の出水規模による床上浸水被害を早期に解消することを目標に掲げ、浸水常襲河川や水害リスクの高い河川から優先的に河道拡幅や堤防強化などの河川改修を実施することにより、地方創生に寄与するストック効果を含めた河川整備効果の早期発現に努めています。

しかしながら、河川整備率は約 46.8% (平成 28 年 3 月末時点) に留まっており、今後も選択と集中による治水対策を一層推進することにより、限られた予算の中で効率的・効果的に治水安全度の向上を図ることが喫緊の課題となっています。

一方、水害から人命を守るためには、ハード整備のみでは限界があることから、住民の適切な避難行動を推進するためのソフト対策にも力を入れて取り組んでいます。従来から河川監視カメラや水位計を用いた積極的な情報発信に努めているところですが、平成 27 年 5 月の水防法の改正を踏まえ、現在、県内 19 河川について、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域の見直しを進めているところであり、今後、市町村が作成するハザードマップの基礎資料として活用されるよう連携して取り組んでいきたいと思ひます。また、平成 28 年 8 月に有識者、自主防災組織、マ

スコミ等の多様な関係者を交えた検討会を立ち上げ、水害に対する警戒・避難情報のあり方を住民目線で見直すなど、新しい取り組みにも着手しています。

本県では、今後も引き続き、関係者の皆様と連携を図りながら、防災・減災対策の一層の推進に向けて、ハードとソフトが一体となった総合的な取り組みを進めて参りますので、皆様の御支援と御協力をお願いします。

3 中国地方治水大会の開催

さて、11月8日(火)に平成 28 年度中国地方治水大会を鳥取市で開催いたします。

本大会では、全国各地の豪雨・津波災害の現地調査に取り組み、災害情報の利活用や避難行動などの調査研究が行われている静岡大学防災総合センター教授の牛山素行様うしやまもとゆきから「地域を知り、防災を考える―最近の豪雨災害事例から学ぶこと―」という演題で御講演をいただくことしております。また、鳥取市、倉吉市の意見発表に加えて、島根県から津和野町長様にもお越しいただき、平成 25 年 7 月に発生した豪雨災害の教訓を踏まえた意見発表も行っています。

本大会を開催する 11 月は、松葉ガニ漁が解禁の時期を迎えます。県内の対象施設に宿泊し、スタンプを押したハガキを応募すると、抽選で毎月 100 名様に「旬のカニ」が当たる「ウェルカニキャンペーン」も行っています。御来県の際は、是非、かに水揚量日本一の「蟹取県」で獲れる松葉ガニを御賞味ください。

多くの皆様の御来場を事務局一同、心よりお待ちしております。



蟹取県ウェルカニキャンペーン

(キャンペーン期間：平成 28 年 9 月～平成 29 年 2 月)

近畿地方治水大会の開催について（ご案内）

平成 28 年 11 月 14 日(月) 13:30 ~

和歌山市 ホテルグランヴィア和歌山

和歌山県 県土整備部 河川・下水道局 河川課

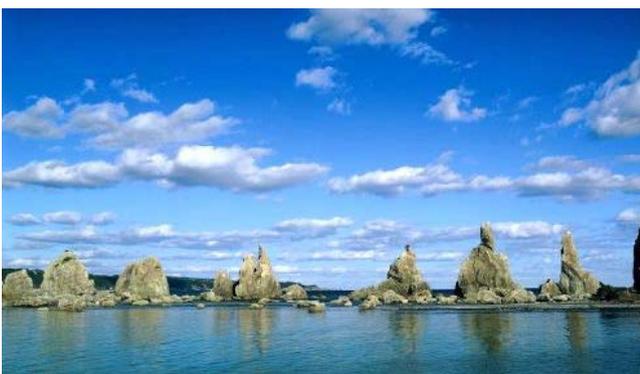
平成 28 年度近畿地方治水大会の事務局を担当します和歌山県から、当県の紹介と大会のご案内をさせていただきます。

和歌山県のすがた

和歌山県は、本州紀伊半島の西南部に位置し、北は和泉山脈を境に大阪府、東は紀伊山地を境に奈良県、三重県と接し、西は紀伊水道を挟んで徳島県と相対しています。

「木の国」とも呼ばれるように大部分が山岳地帯で、平野は少ないものの、紀の川をはじめとする諸河川の流域では平野が開けています。諸山脈は概ね北東から南西に走り、標高は 1,000m 前後ながら比較的傾斜の急な山が多く、河川のほとんどはこれらの諸山脈に源を発し、流域を潤し紀伊水道や太平洋に注いでいます。

海岸線は北の加太から南の熊野川河口まで約 650km におよぶ変化に富む美しいリアス式海岸で、大部分が国立公園等に指定されています。特に、日本ジオパークにも指定されている県南部の海岸は、山裾が黒潮に洗われ、橋杭岩をはじめとする奇岩・怪石が海中にそびえ立つ雄大な眺めとなっています。



橋杭岩（串本町）

河川の現況

和歌山県には一級水系が 2 つあり、1 つは大台ヶ原（奈良県吉野郡川上村）を水源として県北を西流し紀伊水道に注ぐ紀の川水系です。もう 1 つは山上ヶ岳（奈良県吉野郡天川村）を水源として県東部を流下し熊野灘に至る新宮川水系で、その本流である熊野川の

一部区間は世界で唯一の「川の参詣道」として世界遺産に登録されています。この 2 つの水系には一級河川 134 河川(延長 609km) が流れています。



熊野川（新宮市）

一方、二級水系は 85 水系あり、その中に二級河川 317 河川(延長 1,422km) と準用河川 92 河川(延長 98km) が流れています。なお、延長 13.5m と日本で最も短い川である「ぶつぶつ川」も二級河川に含まれています。

県内には清流として名高い二級河川古座川を始め、豊かな自然環境を有する河川が多くあり、水と緑豊かな生活環境を創出している河川もたくさんあります。しかし、急流河川が多く、降雨量も多いため、豪雨による洪水氾濫の被害を受けやすく、また都市河川は低地帯を流れているため、氾濫による浸水被害を受けやすいという特徴があります。



清流 古座川（古座川町）

近年の浸水被害と治水対策

和歌山県の紀伊山地周辺は全国でも有数の多雨地域で、過去から明治 22 年の水害や昭和 28 年の大水害など繰り返し水害に見舞われてきました。近年では、平成 23 年の紀伊半島大水害が特に大きな水害となっています。

紀伊半島大水害では、平成 23 年 9 月の台風第 12 号により紀伊半島に記録的な大雨がもたらされ、県所管雨量観測所 182 か所のうち 31 か所で総雨量 1,000mm を超え、最大総雨量は 1,998mm にも及んでいます。県内の河川の水位観測所の 7 割を超える箇所で氾濫注意水位を超過し、また 12 河川で氾濫危険水位を超過し、各地で浸水被害が発生するなど記録的な出水となり、その被害状況は、人的被害として死者 56 名、行方不明者 5 名、住宅被害は全壊・半壊 1,993 棟、床上・床下浸水 5,855 棟にも上っています。

県では、紀伊半島大水害からの早期復旧・復興を目的とした「復旧・復興アクションプログラム」を平成 23 年 11 月に策定し、様々な施策の進捗管理を行いながら対策に取り組んできたことにより、概ねの復旧が図れたところです。



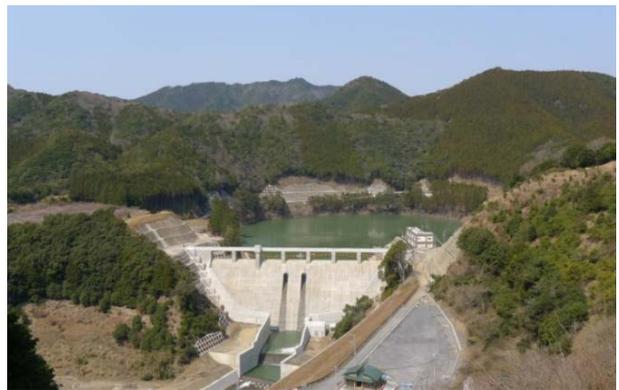
紀伊半島大水害の日高川の浸水状況（日高川町）

都市河川では、一級河川和田川において平成 24 年 6 月の集中豪雨により、床上・床下浸水 116 戸もの浸水被害が発生しました。そのため、床上浸水対策特別緊急事業に採択され、河道掘削、築堤及び河積を阻害している横断構造物の改築を実施しています。

ダム事業では、平成 3 年度から実施計画調査に着手した「切目川ダム」が平成 27 年 3 月に竣工し、洪水被害の軽減や水需要の確保に寄与しています。



平成 24 年 6 月豪雨の和田川の浸水状況（和歌山市）



切目川ダム（和歌山県日高郡印南町）

ソフト対策としては、平成 23 年の紀伊半島大水害等を踏まえ、緊急避難先の安全レベル設定、避難勧告等の発令の早期・的確化など様々な対策に取り組んできたところです。また、住民一人ひとりが避難場所や避難経路をしっかりと自身で考え、的確に避難をするために、避難対策ワークショップの運営方法を示す手引きも現在策定中であります。

その他、地上デジタル放送やインターネットを通じて、雨量や河川の水位、河川監視カメラの画像等をリアルタイムで配信しております。

近畿地方治水大会の開催

さて、開催地となります和歌山県は、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」や国指定史跡等に関連した観光地が多くあります。また、現在、「木の国」と呼ばれる和歌山の豊かな自然を育む「水」をテーマにした県の観光キャンペーン「水の国、わかやま。」を実施しているなど、「水」に関わる観光地もたくさんあります。平成 23 年の紀伊半島大水害で大きな被害を受けた県内の観光地も、平成 27 年には水害以前の水準を上回る観光客にお越し頂けるまでになりました。

また、当県には海の幸・山の幸を始め、良質の「水」

が生み出す農産物やお酒もたくさんありますので、この機会に是非、ご堪能いただきたいと思います。

皆様のご参加を心からお待ちしております。



世界遺産 那智の滝 (那智勝浦町)



国指定史跡 和歌山城 (和歌山市)

河川愛護月間をかえりみて

国土交通省 水管理・国土保全局 治水課

国土交通省では、昭和 49 年から毎年 7 月を「河川愛護月間」と定め、河川愛護運動を実施しています。

本年度においても、「せせらぎに ぼくも魚も すきとおる」を推進標語として、各地方整備局、都道府県、市町村が主体となり、全国各地でポスター、チラシ等による広報活動をはじめ、河川のクリーン作戦、水生生物調査等、多様な活動が、地域住民、河川愛護団体、関係行政機関等の協力を得て実施され、多数の方々の参加をいただきました。

月間中に行われた行事等の成果を踏まえて、今後とも、地域住民、市民団体等と協力した流域全体の良好な河川環境の保全・再生への取り組みを積極的に推進するとともに、年間を通して、国民の河川愛護意識の醸成に努めてまいりたいと考えております。



カヌー大会



川の安全教室



クリーン作戦



水生生物調査

平成 28 年度「森と湖に親しむ旬間」実施状況

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課

農林水産省、国土交通省、独立行政法人水資源機構、都道府県、市町村は、人々に森や湖に親しむ機会を提供することにより、心身をリフレッシュし、明日への活力を養っていただくとともに、そうした機会をとらえて森林やダム湖のもっている自然豊かな空間や社会生活に果たしている役割などを理解していただくことを目的として、毎年 7 月 21 日から 31 日までを「森と湖に親しむ旬間」として定めています。

本年度も、全国各地のダムやその周辺の森林を会場として、ダム見学会、水辺や森林などの自然とふれあい親しむ教室、森や湖について理解を深めることができるレクリエーション等の行事が開催され、多くの方の来訪がありました。

この中のいくつかのダムにおける、イベントの実施状況を紹介します。

○ ^{しじゅうしだ} 四十四田ダム「第 40 回盛岡・北上川 ゴムボート川下り大会」

「第 40 回盛岡・北上川ゴムボート川下り大会」は、スタート地点である四十四田ダムから北上川をゴムボートで下る大会であり、盛岡市の夏の風物詩となっています。約 11km のコースを 2 人 1 組のゴムボートで川下りをするもので、今年は 1,584 人がレースに参加しました。参加者は沿道や橋にいる観客からの応援を受けつつ、水しぶきを浴びながら川下りを楽しんでいる様子でした。



スタート地点 (四十四田ダム)



ゴムボート川下り

○ ^{おおいし} 大石ダム「大石ダム湖畔まつり」

「大石ダム湖畔まつり」では、ダムの堤体内の見学会を開催しました。また、森林管理署による木工教室、発電所見学会や魚のつかみ取り、カヌー体験等が行われ、約 700 人の親子連れの方などが新潟県内外から来場され、ダム湖畔で夏休みの一日を満喫していただきました。



ダム見学会



木工教室

○ ^{みわ}美和ダム「美和ダム探検ツアー」

「美和ダム探検ツアー」では、美和ダムの堤体内や土砂バイパストンネル内部の見学、美和発電所の見学会及び美和湖の湖上巡視体験ツアーを開催しました。当日 140 人の親子連れの方などが長野県内外から来場され、涼しいダム湖と重力式コンクリートダムの内部を歩いて探検し、夏休みの 1 日を楽しく過ごしました。



ダム見学会



湖上巡視体験

○ ^{さやまいけ}狭山池ダム「狭山池再発見」

「狭山池再発見」では、狭山池の歴史を案内する博物館ツアー、ダムについて紹介するダムツアー、ため池の生き物に触れる副池ツアーの 3 種類を実施しました。ダムの遠隔監視カメラの操作体験や、洪水吐の見学・説明に、子どもたちは興味津々で聞き入っていました。参加者は全体で 331 名となり、普段あまり体験できない博物館の裏側見学や、ザリガニ釣りを楽しんでもらうことができました。



ダムツアー



副池ツアー

○ ^{いしてがわ}石手川ダム「自然と遊ぼう DAY !」

「自然と遊ぼう DAY !」では、石手川ダム上流のせせらぎ公園にて山や川の中にある生き物の観察を行いました。また、森林管理署による木工品製作教室や松山東消防署・愛媛県による水難事故の講話や水難救助の実演の後に川遊びを楽しんでいただきました。事前に応募された親子連れ 77 名が参加され、ダム上流水源地域の役割やはたらきを楽しみながら学んでいただきました。



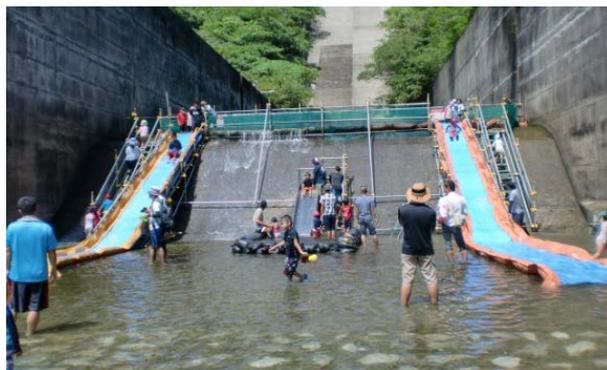
水生生物観察



木工作製作教室

○ ^{ふくじ}福地ダム「福地ダム夏休み自然体験会」

「福地ダム夏休み自然体験会」では、自然観察船、カヌー体験、福地川川遊び、ダム施設見学、ザリガニ釣り体験、丸太切り体験、森林パネル展示が催され、村内外から約 2,500 人の来場者で賑わいました。中でも川遊びでは、大型の「ウォータースライダー」を 3 年ぶりに設置したこともあり利用者から大好評で、子供たちの楽しむ声が響き渡っていました。



福地川川遊び



カヌー体験

国土交通省では、今後とも農林水産省等の関係機関と連携しながら、全国の各地でこうしたダムと森林の役割を人々に広く理解をしていただくための取り組みを推進・充実するとともに、限られた水資源の有効活用や水源地域活性化の推進を図ってまいります。